

企業に「富」を！ヒトのエキスパート

企業経営の健全な発展を強力にサポート



企業よし、従業員よし、世間よし  
の三方よしの実現を！

富田労務管理事務所

所長 特定社会保険労務士 富田 隆

『ヒト・モノ・カネ・情報』の四要素から成る企業経営。中でも「ヒト」は全ての出発点として重要な役割を担う。パナソニック創業者松下幸之助の「企業は人なり」という言葉通り、モノもカネも情報も結局は「ヒト」の力を抜きにして生み出す事は出来ない。

このように、企業業績の向上に欠かせない「ヒト」の育成・マネジメントのスペシャリストが富田労務管理事務所の富田隆所長だ。

現在三十二歳と社労士の世界では若手の部類に入るが、「もちろん経験では他の先生方には敵いません。その分、お客様と向き合い、行動力と発想力で補っていきます」と力を込める。

大阪市大正区で生まれ育ち、学生時代も大阪市大正区で過ごす。大学在籍中から勤務していた塾の講師業を経て、社会保険労務士の資格を取得。

その後、会計事務所勤務するという異色の経歴を持つが、これに対しては「人事労務と経営・税務会計は一体です。経営と税務会計の知識を兼ね備えることで企業に対してより効果的なアドバイスができると思います」と振り返る。

実務経験を重ねて平成二十一年に独立。一年後の平成二十二年には特定社会保険労務士の資格も取得した。

「特定社労士の資格を取得することで、事後的に万が一のトラブルが発生しても、その処理に対応することができます。もしもの時のために取得しました」

経験を重ね、勉強に励み、満を持する形で富田労務管理事務所を開設して船出となった。地下鉄長堀鶴見緑地線の大正駅1番出口の目の前にある現在の事務所は、アクセス抜群の立地である。

「私たちの事務所に来られる方が迷わないように」という配慮がなされている。事務所の入口近くには看板が建てられ、毎日日替わりのメッセージを発信する。士業の事務所らしからぬ明るい雰囲気伝わってくる。

ここには、富田所長の「スタッフや家族をはじめ、この事務所に関わる皆さん、そして事務所の前を通る方全てを前向きで楽しい気持ちにさせたい」との思いが込められている。

### 能力を最大限に発揮できる職場が理想 専門的な人事労務コンサルタントが強み

「毎月一回は必ず顧問先を訪問するようにしている。現場に行かなければわからない事も沢山ありますから」

富田所長は、クライアント企業の社長のモノの考えや、企業、従業員に対する思いなどを聞いて理解する一方、社内の雰囲気を観察する。その際に気付いた点や改善すべき箇所を社長に報告し、今後に活かしたコンサルティングを行う。

「従業員が仕事を楽しみ、能力を最大限に発揮できる職場環境をつくり、企業業績の向上に貢献したい」

富田所長によれば、こうした職場の環境が会社を大きく成長させる一番の要因になるのだとか。「従業員と企業がお互いを思いやる気持ちを持つ事が大切です。そうすれば企業の成長に繋がる爆発的な力が生まれるんです」

企業と従業員のパイプ役となって経営にプラスになる提案を行い「財務諸表を確認しながら、具体的な数字の部分からもアドバイスができる点は自分の強み」とも。過去の会計事務所での勤務経験が今、大いに活かされているというわけだ。

「従業員の給与額の妥当性などは、会社の売り上げやキャッシュフローなどが正確に読めないと

判断できません」。

企業経営に対してこのようにシビアなフォローができるのは富田労務管理事務所ならではの事。「もちろん必要があれば専門の税理士の先生を紹介する事もできます」と付け加える。

さらに富田所長の実兄が司法書士・行政書士であることから、「お互い情報を共有し合うことで、効果的でスピーディーな連携がとれる」とそのメリットを強調する。

### 適正な評価制度の明確 化で会社を元気に 業務の代行で経営に専 念できる環境を

「伸びている企業に共通しているのは社員が会社に忠誠を尽くし、生き生きと働いている点です。私の役割は社員の能力を最大限に発揮できる職場環境を実現し、活気ある会社を一社で



事務所内は、常に活気があり和気あいあいとしている

「も多く作り、皆さんを元気にすることです」  
現在、製造業や建設業、サービス業、教育産業、美容容業、医療業といった幅広い業種を顧問先として抱える。主な業務として、就業規則の作成が挙げられる。  
これについては「規則を作り、経営者・従業員が共通の認識を持つことで、緊急事態が生じた場合に迅速な対応を取ることが出来ます。労働トラブルを未然に防ぎ、トラブル後の企業防衛にも繋がる。作ったものを皆で共有し有効に活用できるように、お手伝いをする事です」と説明する。



ゆとりある老後の生活提案コンサルティングにも力を入れている

経営者や人事担当など管理職に規則を理解して貰おうと、就業規則とは別に「規則運用マニュアル」を作成している。  
また、従業員に対しても同じ様に規則を噛み砕き、職場ルールを明確にした独自の「オフィスルールブック」を作成している。「作っただけで、運用できない規則は、労使双方にとって逆に大きなリスクとなりますからね」との理由だ。

さらに人事労務制度の企画・立案では、従業員一人ひとりの仕事に対する能力をベースに、役職や賃金を決める等級制度を採用し、仕事に対する適正な評価制度を構築した。「賃金や退職金、能力開発も制度化し、個々の従業員に明確な目標を持たせる事でモチベーションの向上に繋がれば」という。同時に評価する方も評価制度を理解していな

いと意味がないので、研修・説明会などを実施して、評価者が理解して運用できるようにしている。  
さらに富田所長は給与計算代行にも力を入れており「給与にかかる保険料や税率の計算などは煩わしく手間もかかります。こうした作業は私たちに任せて貰えば、その分、会社は企業経営に専念できるメリットが生まれます」とアピールする。

このほか、顧問パートナーとして役所や関係官庁からの勧告、調査への対応や、さまざまな手続きなどのサポートを行なっており、その業務は多岐にわたっている。

## 個人向け年金・保険相談業務を第2の柱に 老後のゆとりある生活に繋がるアドバイス

「ヒト」という観点から企業サポートを実践する富田所長は、今後年金・保険相談を踏まえたライフプランの提案に力を注いでいくという。

「今までは対企業向けの業務一本でしたが、経営者の方で企業のビジネスプランは立てているが、経営者ご自身のライフプランを立てている方が少ないことに気付きました。そこで、老齢年金・障害年金・遺族年金などの年金相談業務を中心に、たくさんの方々からゆとりある老後生活を送れるような、またご自身に万が一の事が起きた場合に対応できるようにコンサルティング業務をも一つの業務の柱にしていきたい」と意気込む。

年金事務所週に一度年金相談業務や、社労士を対象に年金をテーマとした講演を行うなど、年金に関する知識は豊富だ。





講演・セミナーや社会貢献活動も熱心だ

お客様の細かいニーズに応える事ができるのは大きなメリット。自分自身もっと勉強して、企業経営者の方・従業員の方、また個人のお客様にとって最も適したライフプランを提案できるようにしていきたい」と力が入る。

地域住民やクライアント企業を対象にした無料相談会も計画しており、「認知度を高めて一人でも多く、困っている人の力になってあげたい」とPRに熱がこもる。

また、「地域の高齢者やクライアント企業の社長や従業員など、多くの人たちの切実なニーズを感じた」ことから、年金のコンサルタント事業に乗り出した。

「将来に対する不安や悩み、要望をしっかりとヒアリングした上で、個々のライフプランに合わせた提案を心がけています」と富田所長は、老齢年金にプラスアルファの個人年金・保険などをベースにした老後のゆとりある生活提案のコンサルタント業務に力を入れている。

母親が保険代理店業務に従事していた関係もあって、事務所でも一部の保険代行を行っていたが、平成二十四年初旬に総合保険取扱会社と業務提携して、様々な保険商品の販売が可能になった。

「保険会社毎に年金・保険プランの内容は異なりますが、

## 地域を愛し、社会貢献活動を積極的に推進 モットーは「本業に勝るものなし」

企業向け労務コンサルタントと、個人を対象にした年金相談を業務の二本柱とする富田労務管理事務所だが、一方地域に対する社会貢献活動にも積極的だ。「生まれ育った大正区には愛着もあり何とか恩返しが出来ないか、と以前から考えていました」という富田所長。

近隣地区の防災会議にも出席し「大正区は海拔マイナスイナス地域のため、地震や津波対策は極めて重要です」ということで、時に休日返上での作業も行い、地域に対する郷土愛が伝わってくる。

こうした地域活動は父親譲りのものだという。「父は大正区少年軟式野球連盟の会長を務めるなど、昔からの知り合いも多く、父を通じて区長など地域の重役の方々と知り合えたことで、大正区との深い繋がりを持つことができました」

地域に根ざして八面六臂の活躍だが、富田所長は、「あくまで自分の本分は社会保険労務士です」と父親からの教えである「本業に勝るものなし」の精神を貫く。「社労士として、一社でも多くの企業の相談にあずかって、力強くサポートしていきたい」と目を輝かせる。

## 仕事も遊びも楽しむ姿勢が大切 死ぬまで社労士」と決意も新た

## PROFILE

## 富田隆（とみた・たかし）

昭和55年4月22日生まれ大阪府出身。大学在学中からの塾の講師を経て、社会保険労務士の資格を取得。会計事務所勤務で実務経験を積み平成21年に独立。平成22年現在の事務所に移転。

特定社会保険労務士。大阪府社会保険労務士会大阪西支部所属。労働保険事務組合大阪SR経営労務センター所属。年金事務所・金融機関での年金相談、教育訓練校でのセミナー講師、企業・従業員向けのセミナーを数多く経験。趣味はスポーツ観戦。

## INFORMATION

## 富田労務管理事務所

**所在地** 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1-17-2

大正駅前サンコービル2F

TEL 06 (6599) 8934 FAX 06 (6599) 8937

E-mail info@tomita-pmo.net

URL <http://tomita-pmo.net/>

## アクセス

- JR環状線 大正駅より徒歩2分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線 大正駅より徒歩1分



## 設立

平成21年

## 営業時間

平日 午前9時～午後5時30分

休業 日・祝日

## 経営理念

私達はお客様のために、常に何が出来るかを考え、感謝の心を忘れず最大限の努力をし、誠実なるサポートをし、私達は積極的に情報収集や研修に努め、日々成長しすべての人々に信頼された、明るく活気のあるチームを目指します。私達は事業活動を通じ、専門的な知識を持って、地域社会の発展に貢献します。

## 業務内容

- ・人事労務顧問（コンサルティング）
- ・就業規則作成／変更
- ・人事労務制度 企画／立案
- ・給与計算
- ・年金相談
- ・関係官庁調査／立会
- ・その他 各種手続き

## メッセージ

富田労務管理事務所は、企業経営に欠かすことのできない『ヒト』に関し、専門家である特定社会保険労務士が、企業経営の健全な発展を強力にサポートします。日常の疑問、お悩みなどなんでもお気軽にお問い合わせ下さい。お客様からのご依頼、ご相談、お問い合わせへ迅速に対応いたします。

日々の業務に加え、講演・セミナー活動や社会貢献活動にと、忙しい毎日を送る富田所長の表情に、気負いや悲壮感はなく「忙しさ以上にやりがいや楽しさを感じながら仕事をさせて貰っている」と満面笑みを浮かべる。「企業の社長や従業員には仕事でも何でも、どこか楽しむ気持ちを持って欲しい」とのアドバイスを送る。仕事を楽しむその姿勢が「好結果に繋がる」とも。自身で興味を持った事はどんな事でも挑戦するのが富田所長の身上で、「楽しんでやらせて貰っている」というフェイスブックやブログ・ツイッターでの情報発信は透明性の確保や信頼の獲得に繋がっている。空いた時間には野球・競馬などのスポーツ観戦や舞台鑑賞などに足しげく通い、「ライブでの観戦・観賞は仕事に活かせるヒントが沢山詰まっています。アイデアの閃きに繋がれば一石二鳥です」と目を細める。

たくさんの聴衆を前にしたセミナーも、当初から緊張することなく自然体でこなせたのは、「昔、塾で講師を務めた経験が活かされたためです」とのこと。ごく自然に人前で話すことに長けている。「かつての経験が無意識のうちに活かされたという経験は、これまでに何度もありました」と振り返る。今後はとくに、企業の業績アップに繋がる新たな企画を立案するなど、労務・経営コンサルティング分野の充実を目指す。

「企業よし・従業員よし・世間よし」の三方よしの実現に向けて「ヒト」に関する専門的なコンサルティングをライフワークに「目標は死ぬまで社労士」と言い切る。

仕事も遊びも楽しみ、いつも明るく元気でポジティブな雰囲気だ。「ずっとサポートしてくれた両親・家族、そしてお客様に恩返しするために精一杯頑張っていきたい」と感謝の気持ちを忘れない。